

データベースの安定稼働を支える
「次の一手」がここにあります。



JP1/Performance Management のご紹介

HITACHI
Inspire the Next

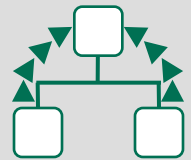
JP1^{Version} 9 アベイラビリティ管理

Oracle SQL Server

信頼のデータベースと、システムの稼働状況を一元監視するJP1/Performance Managementが強力に連携。
データベースの稼働状況をシステム全体の稼働状況と合わせた一元監視を実現します。

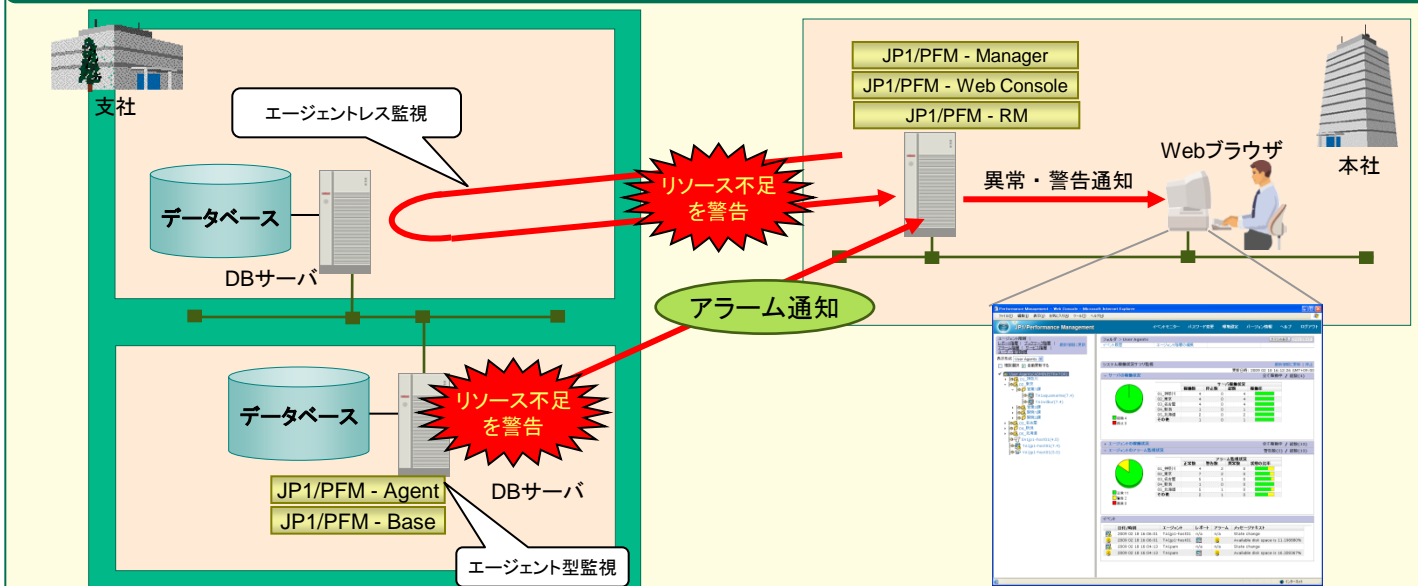
各種データベースを一元的に監視。

障害を未然に防ぎ、計画的に補強すべきポイントを提案します。



JP1/Performance Managementは、マルチプラットフォームな分散システムにおいて、各種データベースの稼働状況を統合的に監視。データベース容量不足など障害の兆候をとらえ、早期に対策できます。突発的な障害にも、OSやストレージなどの各種稼働情報とデータベースの稼働情報を照らし合わせながら原因を調査できます。さらに、長期的な傾向を把握することで、メンテナンス計画の立案を支援します。OracleとMicrosoft SQL ServerはDBサーバへの負荷を少なくしたエージェントレスによる監視も可能です。

各種データベースを含むシステムをJP1/Performance Managementで監視するための運用例



製品の省略名称

JP1/PFM - Manager:
JP1/Performance Management - Manager
JP1/PFM - Web Console:
JP1/Performance Management - Web Console
JP1/PFM - Base:
JP1/Performance Management - Base

JP1/PFM - Agent: 以下のエージェント製品の総称です。監視対象のデータベースの種類に応じて、いずれか1つが必要です。
JP1/Performance Management - Agent Option for Oracle
JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft(R) SQL Server
JP1/PFM - RM: 以下のエージェント監視製品の総称です。監視対象のデータベースの種類に応じて、いずれか1つが必要です。
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Oracle
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Microsoft(R) SQL Server

構成

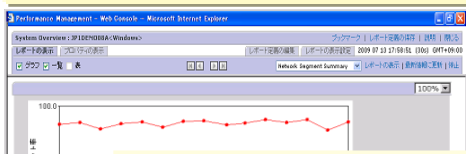
製品名称
JP1/Performance Management - Manager (Windows版)
JP1/Performance Management - Web Console (Windows版)
JP1/Performance Management - Base (Windows版)
JP1/Performance Management - Agent Option for Oracle (Windows版)
JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft(R) SQL Server (Windows版)
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Oracle (Windows版)
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Microsoft(R) SQL Server (Windows版)

JP1/Performance Management 活用例 1

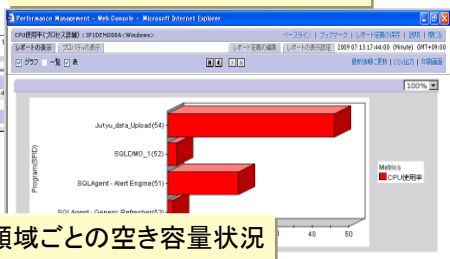
障害の兆候をとらえ、早期に対策

●データベースを中心に、各種稼働情報を効率良く管理できます。

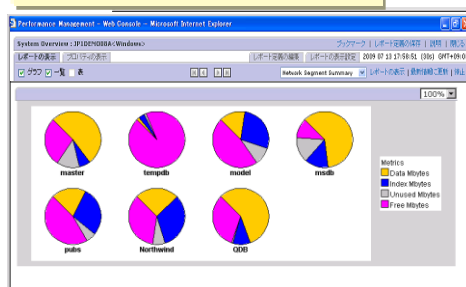
バッファキャッシュからのデータ参照状況



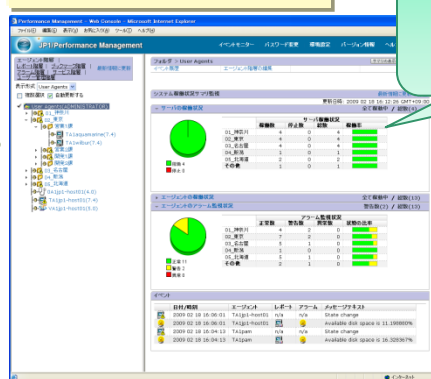
セッションごとのCPU負荷状況



データ領域ごとの空き容量状況



システム全体の状態把握



サーバの稼働状況
やアラーム状況を
ひと目で確認

アラーム通知

Webブラウザから
簡単にアクセス！

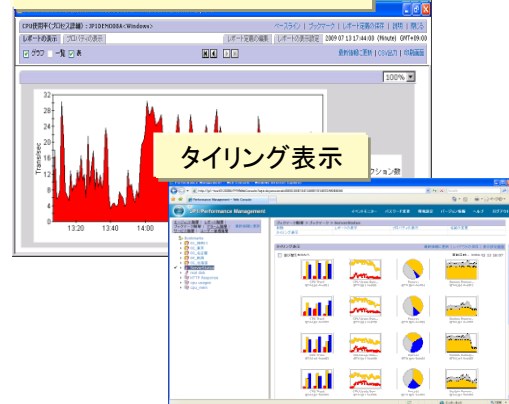
- ・OracleやSQL Serverなど、異なるデータベースの稼働情報も統一した操作で管理。
- ・データベースだけでなく、OSや他のアプリケーションの状況を一元的に把握できます。

JP1/Performance Management 活用例 2

蓄積される日々の稼働情報を運用管理に活用

●将来のリソース不足時期を把握して、計画的なシステム増強が行えます。

1日のトランザクション処理推移



システム増強計画の立案に活用

- ・トランザクション処理サーバのリプレース時期の決定
- ・ディスクの増強計画、バックアップ計画
- ・負荷分散、業務運用の見直し
- ・システム全体のリソース状況の確認 ……など

■製品に関するお問い合わせ

製品に関するご相談は、下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

■情報提供サービス

インターネットでJP1の情報を提供しています。

<http://www.hitachi.co.jp/jp1-e>

・JP1はJob Management Partner 1の略称です。
・本資料に記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。